

令和8年度
藤森中学校教育課程



校歌

作詞 西田 義忠
作曲 中田 喜直

一 洛南の四季のいろどり
野にみつる自然の黙示
培わん豊かな知性

藤森 藤森

われらが学び舎

三年の励みは

日々新たなれ

二 呉竹の緑かがよい

野にあふる 若き力は

つぎゆかん栄ある歴史

藤森 藤森

われらが母校

もとめる真理は

永遠の命ぞ



京都市立藤森中学校

〒612-0031 京都市伏見区深草池ノ内町 55 番地

TEL 075-641-5227

FAX 075-641-5228

<http://www.edu.city.yoto.jp/hp/fujinomori-c>

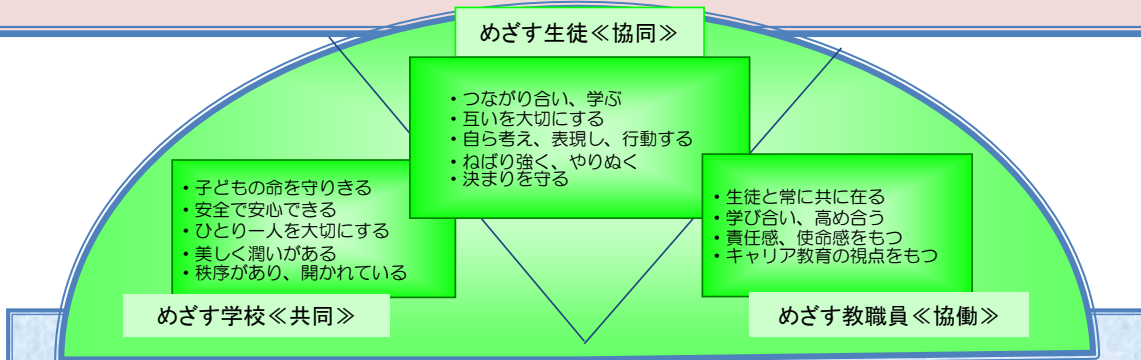
<長期的目標>

令和8年度 **学校教育構想図（藤中教育の精神）** ～今を生き、未来を生きる藤中生のために～

藤森中学校 学校教育目標

人間尊重の精神を基盤とした藤中教育の伝統を継承し、すべての生徒に、自らの将来を切り拓くことができる力を育む。

- ◆ **自主** : 自ら考え、行動できる生徒
- ◆ **敬愛** : 自他を大切にする生徒
- ◆ **挑戦** : 挑戦し、結果から学ぶ逞しい生徒



学校教育における行動目標

「あいさつ」 「時間」 「授業」 「言葉」
 豊かな言葉

- 信頼し合い、安心して学ぶことができる生活の場を築くために

人権教育の目標

- ・一人ひとりの背景に踏み込んだ生徒理解
- ・安心と信頼を感じ合える仲間づくり
- ・感じ学び伝え合う人権学習の実践
- ・人権文化の構築とその伝承

- 生徒指導の目標
- ・生徒理解と信頼関係のもと、心に響く指導の実践
 - ・規範意識の向上と基本的生活習慣の確立
 - ・生徒会を基盤にした自治的な集団づくり
 - ・家庭・地域への発信・連携の強化と小中連携の実践

- 学習指導の目標
- 何事にもあきらめない、粘り強い生徒を育てる
 ～ 一生懸命がカッコいい ～
 - ・学び合い学習の実践と研究
 - ・道徳教育の実践と研究
 - ・つながりのある教育活動 二学校から家庭へ
 - ・長欠生徒への組織的対応
 - ・低学力生徒への手立て

安全で安心できる学校をつくるために、教職員の自己研鑽と
 施設・設備の整備・充実に努め、潤いと安らぎのある教育環境をめざす。

教育環境の条件整備・環境整備

子どもは地域で育ち、生きることから・・・

- 地域・家庭との連携を図り、開かれた学校をめざす。
- 地域に根ざした特色ある教育活動を推進する。

学校をひらく ～ 地域と家庭との連携

● 生徒数・学級数（４月１日現在）

学年	一般学級		育成学級		生徒 総計
	学級数	生徒数	学級数	生徒数	
1	7	242	/	7	249
2	6	235		6	241
3	10	277		5	282
合計	23	754	3	18	772

● 教職員数（４月１日現在）

校長	1	養護	2
教頭	1	事務職員	2
教員	51	管理用務員	1
A L T	1	スクールカウンセラー	1
合計 60			

● 教育課程

区分	必修教科の授業時数									道徳	特別活動	総合	総授業 時間数
	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健体育	技術家庭	英語				
1年	140	105	140	105	45	45	105	70	140	35	35	50	1015
2年	140	105	105	140	35	35	105	70	140	35	35	70	1015
3年	105	140	140	140	35	35	105	35	140	35	35	70	1015
育成	140	70	70	70	70	70	105	70	70	35	175	70	1015

* 育成は今年度の課程です。特別活動は学活・生活・自立・職業の合計です。

● 年間予定

令和8年度(2026年度) 年間行事予定

I 学期												II 学期						
令和8年	4 月			5 月			6 月			7 月			8 月			9 月		
1	水		1	金	二者懇談会⑤	1	月	人権学習週間	1	水		1	土		1	火		
2	木		2	土		2	火		2	木		2	日		2	水		
3	金		3	日	憲法記念日	3	水		3	金	2年確プロ	3	月		3	木		
4	土		4	月	みどりの日	4	木	歯科検(午前)	4	土		4	火		4	金		
5	日		5	火	こどもの日	5	金		5	日		5	水		5	土		
6	月		6	水	振替休日	6	土		6	月		6	木	学校閉鎖日	6	日		
7	火	春季休業終了	7	木	3年学調(英)	7	日		7	火		7	金	学校閉鎖日	7	月		
8	水	始業式・着任式 教科書配布(23年)	8	金	内科3年(午後)	8	月		8	水		8	土	学校閉鎖日	8	火	3年第2回テスト①	
9	木	入学式	9	土	吹奏楽の夕べ 17時~	9	火	保護者参観 (2,3限)	9	木		9	日	学校閉鎖日	9	水	3年第2回テスト②	
10	金	身体計測 教科書配布(1年)	10	日		10	水		10	金		10	月	学校閉鎖日	10	木		
11	土		11	月		11	木		11	土		11	火	山の日	11	金		
12	日		12	火		12	金		12	日		12	水	学校閉鎖日	12	土		
13	月	新入生歓迎会	13	水	内科2年(午後)	13	土		13	月	懇談会①1, 2年	13	木	学校閉鎖日	13	日		
14	火	1年ジョイプロ 眼科①(午後)	14	木		14	日		14	火	懇談会②	14	金	学校閉鎖日	14	月		
15	水		15	金	内科1年(午後) 3年確プロ	15	月		15	水	懇談会③	15	土		15	火		
16	木	検尿①	16	土		16	火		16	木	懇談会④	16	日		16	水		
17	金	検尿②	17	日		17	水	第1回テスト①	17	金	懇談会⑤	17	月	学校閉鎖日	17	木		
18	土		18	月		18	木	第1回テスト② 歯科検診(欠席者)	18	土		18	火		18	金		
19	日		19	火		19	金	第1回テ③ (2,3年)	19	日		19	水		19	土		
20	月	3年学調(英) +質問	20	水	修学旅行①	20	土		20	月	海の日	20	木		20	日		
21	火	部活集会 眼科②午後	21	木	修学旅行②	21	日		21	火	懇談会⑥	21	金		21	月	敬老の日	
22	水	耳鼻科検診① 午前	22	金	修学旅行③	22	月	心臓二次(9時)	22	水	I 期終業式	22	土		22	火	国民の休日	
23	木	全国学力調査 (国数)	23	土		23	火		23	木	夏季休業開始	23	日		23	水	秋分の日	
24	金	二者懇談会① (1, 2年)	24	日		24	水		24	金		24	月		24	木		
25	土		25	月		25	木	生徒総会	25	土		25	火	夏季休業終了	25	金		
26	日		26	火	検尿2次	26	金		26	日		26	水	II 期始業式	26	土		
27	月	二者懇談会②	27	水	耳鼻科②午前 進路説明会	27	土		27	月		27	木		27	日		
28	火	二者懇談会③	28	木	耳鼻科検③ (午後)	28	日		28	火		28	金		28	月	合唱コンクール	
29	水	昭和の日	29	金	1年心臓一次 (午後)	29	月		29	水		29	土		29	火		
30	木	憲法学活 二者懇談会④	30	土		30	火		30	木		30	日		30	水		
			31	日					31	金		31	月					

※予定ですので、変更になることがあります。ご了承ください。

Ⅱ学期				Ⅲ学期											
10月		11月		12月		令和8年	1月		2月		3月				
1	木	1	日	1	火	オープン スクール	1	金	元日	1	月	1	月		
2	金	前期時間割終了	2	月	2	水	2	土	学校閉鎖日	2	火	2	火		
3	土	3	火	文化の日	3	木	3	日	学校閉鎖日	3	水	3	水		
4	日	4	水	4	金	4	月	学校閉鎖日	4	木	育成 小さな 巨匠展	4	木		
5	月	後期時間割開始	5	木	5	土	5	火	冬季休業終了	5		金	5	金	
6	火	全学年確プロ	6	金	6	日	6	水	Ⅲ期始業式	6		土	6	土	
7	水	生徒会選挙	7	土	7	月	7	木	7	日	7	日	7	日	
8	木	8	日	8	火	8	金	8	月	8	月	8	月		
9	金	9	月	9	水	9	土	9	火	1,2年学年末 テスト①	9	火	9	火	3年生を送る会
10	土	10	火	10	木	10	日	10	水	1,2年学年末 テスト②	10	水	10	水	
11	日	11	水	11	金	11	月	成人の日	11	木	建国記念の日	11	木		
12	月	スポーツの日	12	木	12	土	12	火	12	金	12	金	12	金	
13	火	13	金	13	日	13	水	13	土	13	土	13	土		
14	水	14	土	14	月	14	木	14	日	14	日	14	日		
15	木	15	日	15	火	懇談会①	15	金	15	月	15	月	15	月	卒業式
16	金	進路保護者説明会	16	月	16	水	懇談会②	16	土	16	火	16	火		
17	土	17	火	第2/3回テスト①	17	木	懇談会③	17	日	17	水	17	水		
18	日	18	水	第2/3回テスト②	18	金	懇談会④	18	月	18	木	18	木		
19	月	19	木	第2/3回テスト③ (2,3年)	19	土	19	火	1年科学C(午後)	19	金	19	金	修了式	
20	火	体育大会準備	20	金	20	日	20	水	20	土	20	土	20	土	
21	水	体育大会	21	土	21	月	懇談会⑤	21	木	3年模擬面接	21	日	21	日	春分の日
22	木	体育大会予備	22	日	22	火	懇談会⑥1,2年	22	金	1, 2年確プロ	22	月	22	月	振替休日
23	金	体育大会予備	23	月	勤労感謝の日	23	水	23	土	23	火	天皇誕生日	23	火	
24	土	24	火	24	木	Ⅱ期終業式	24	日	24	水	24	水	24	水	
25	日	25	水	25	金	冬季休業開始 授業予備日	25	月	25	木	25	木	25	木	
26	月	3年進路懇談①	26	木	26	土	26	火	26	金	26	金	26	金	
27	火	2年職場体験① 3年進路懇談②	27	金	スポーツフェス (育成)	27	日	27	水	27	土	27	土	27	土
28	水	2年職場体験② 3年進路懇談③	28	土	28	月	授業予備日 学校閉鎖日	28	木	28	日	28	日	28	日
29	木	2年職場体験③ 3年進路懇談④	29	日	29	火	学校閉鎖日	29	金	29	月	29	月		
30	金	2年職場体験④ 3年進路懇談⑤	30	月	人権学習週間	30	水	学校閉鎖日	30	土	30	土	30	土	
31	土	31	水	31	木	学校閉鎖日	31	日	31	月	31	月	31	月	

● 学校生活について

◇ 登校時間

① 平日の登校について

- ・ 遅くとも8時25分までに登校できるようお願い致します。
- ・ 尚、8時00分より前に登校することはご遠慮ください。
- ・ 登校後は、教室で朝読書をします。

② 土日祝の登校について

- ・ 校内の部活動開始時間は7時30分以降となります。
- ・ 近隣住民の方への配慮を考え、7時30分より早い時間帯の活動は行いません。
但し、大会等で活動が必要な場合を除きます。

◇ 校時表の変更

① 授業時間について

- ・ 木曜日は基本的に5時間目までとします。

② 終学活

- ・ 月～水・金： 15時05分～15時10分
- ・ 木： 14時05分～14時10分

③ 清掃活動

- ・ 放課後の清掃活動は週2回（火・金）です。

④ 部活動について

- ・ 原則、木曜日を部活動停止日とします。
- ・ また、完全下校時間は16時50分です。
- ・ 平日の下校時の服装も、部活動の服装で下校することは可とします。
ただし、衛生上、運動した服装で帰るのではなく、着替えて帰ることを原則とします。

⑤ 定期テスト

- ・ 定期テストの実施回数は年3回です。
[1、2年生] 6月、11月、2月実施
[3年生] 6月、9月、11月実施
- ・ 懇談会（7月、12月）で定期テスト以外の評価項目を記載した副票を配布します。
- ・ 詳細については、研究部のページをご覧ください。

● 学校業務について

◇ 業務対応

①電話受付時間

・通常授業期間

月～金： 8時00分～17時30分

土日祝： 電話受付はございません。

・長期休業中

月～金： 8時25分～16時55分

土日祝： 電話受付はございません。

閉鎖期間： 電話受付はございません。

- ・17時30分以降、電話の受付は基本的に行いませんが、学校側からご家庭へ連絡が必要な場合は、対応させていただきます。
- ・欠席や遅刻等の連絡につきましては、「すぐる」をご活用ください。

②個別懇談会

- ・個別懇談会は年間3回実施予定です(4・5月、7月、12月)。3年生のみ、10月に進路懇談会を実施するため、3年生は4回実施になります。
- ・4月下旬から5月初旬の懇談会は二者懇談会です。7月・(10月3年生のみ)・12月の懇談会はお子さまも含めた三者懇談会になります。
- ・1学級の生徒数を考慮し、1・2年生は6日間、3年生は5日間で行います。(4・5月の二者懇談会は各学年1日少なくなります。)
- ・時間につきましては、16時50分終了とさせていただきます。
- ・学校へ来校される際、お車の乗り入れにつきましてはご遠慮ください。



● 部活動

◎体育系

陸上(男女) 野球 卓球(男女) 柔道(男女) ラグビー
バスケットボール(男女) ソフトテニス(女) サッカー
ワンダーフォーゲル 剣道(男女) 水泳(男女) バレーボール(男女)

◎文化系

美術 理科 英語 放送 茶道 吹奏楽 パソコン

令和8度 研究部 教育課程資料

目指す学校・生徒の姿

主体的に学習し、対話を通して人と関わり、
学んだことをこれからの人生や社会に生かすことができる生徒

【研究部テーマ】

- 1 言語能力の育成
- 2 主体的・対話的で深い学びの実現 ～生きる力の育成～

- 1 授業・総合・人権学習・道徳・特別活動などすべての教育活動において、言語能力は必要不可欠なものです。主体性、対話を大切に、調べたことや感じたことを基盤に、さらに深め、他者に伝える力を育成していきたいと考えています。
- 2 学校教育目標にもある、自主・敬愛・挑戦する生徒を育てていくために、何事にも主体性を持って行動し、たくさんの人と関わることで学びを深めていきたいと考えています。また、中学校3年間を終えると、自分の意志で自分の道を切り拓いていかなければなりません。これから先の時代を生き抜いていくために、自ら課題を見つけ、自ら学び、判断して行動し、生徒一人一人が思い描く将来像を実現するための力を育成していきたいと考えています。

1. 新学習指導要領の改定で、学ぶ目的が変わった！

「何を知っているか」だけでなく、それを活かして「何ができるか」という「学び方を学ぶ」授業への転換。学習面を中心に、自分を知り、自分を変えていく（自己探求）機会を増やしていきます。

2. 定期テストの回数を変更

これまでの卒業生から「定期テストの点数はとれるけど、入試の過去問（模試：中1～3の復習）は全然解けません...」「定期テストで、一気に9教科の内容聞かれても...理解できません（定期テストなんてどうせとれない）」といった意見が出ていました。定期テストの直前「だけ」学習するという学習観から抜け出すために、定期テストの回数を減らし、普段の授業の課題で細かく評価していきます（学びのサイクルを小さくするイメージです）。例年より、1つ1つの授業の課題（小テストや単元テストも含む）が増えるので、毎日の授業・家庭学習を頑張るよう声をかけていただけると嬉しいです。
成績についても「定期テスト以外」の評価項目が、重視されることとなります。

3. 「学び合い」「ふりかえり」活動の充実

一人一人の学習意欲を高めるために、「安心して、教えてと言える環境づくり」と、その時間の確保。

自身の学習を定期的なふりかえり場面（定期テスト後は必ず実施）、教員からの丁寧で小まめなフィードバックを心がけます。毎日の授業でも、ふりかえりを大切に、自分の学びをふりかえり時間をとります。

4. 学習指導要領の3つの柱をベースに評価

学習状況評価の3観点は「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」になります。従来の教育に比べて問題解決能力や自主性、思考力が重視されるようになりました。

知識・技能

「知識・技能」の観点では、各教科で身につけるべきとされている知識やスキルについて、十分に習得しているかが評価の対象となります。ただし、| 問 | 答形式で測るような単純な知識だけではなく、他の教科の知識とも結びつけて活用できるような概念的な知識も重視されます。

思考力・表現力・判断力

「思考力・表現力・判断力」の観点では、「知識・技能」に比べてより広い力を評価することになります。

各教科教育の中で課題や問題に向き合って解決していく能力や、級友と協力しながら問題解決の糸口を見つけていく力など幅広い能力が評価対象になります。自らの思いを表現していく能力も評価されます。そのため、具体的な評価方法はペーパーテストに限られないことが予想されます。グループでのディスカッションや発表、レポートなど、各教科の特性に合わせて評価方法が工夫されています。

ペーパーテストだけに偏らない多様な試験方法が用いられることになります。

主体的に学習に取り組む態度

「主体的に学習に取り組む態度」は今までの「関心・意欲・態度」の評価観点に対応するものですが、評価軸はこれまでとは多少違ったものとなり、さらに深い部分を見ていくことになります。各教科の内容を理解するために、生徒が「いかに学習を調整して、知識を習得するために試行錯誤しているか」という部分を評価していきます。

5. 具体的な評価について

○ 各観点はA・B・Cで評価(変更なし) Bが「おおむね満足=標準」という状況

A=十分満足できると判断されるもの

B=おおむね満足できると判断されたもの

C=努力を要すると判断されるもの

○ 中学校は5段階評定 3が「おおむね満足=標準」という状況

5=十分満足できると判断されたもののうち、特に程度の高いもの

4=十分満足できると判断されるもの

3=おおむね満足されると判断されるもの

2=努力を要すると判断されるもの

1=一層努力を要すると判断されるもの

	5	4	3	2	1
評価の数	AAA	AAA~AAB	AAB~BBC	BBC~CCC	CCC
補足	特に「A」の達成度が高い	達成度で判断	達成度で判断	「BBC」は達成度で判断	特に「C」の達成度が低い

6. 評価は加算方式

学期ごとに出すのではなく、積み上げ方式となります。

